

2022(令和4)年度第2回公共図書館部会幹事会記録

- ・日時 2022(令和4)年5月20日(金)午前10時～11時25分
- ・場所 日本図書館協会2階研修室(Zoom会議による開催)
- ・幹事現員数16名、Zoom出席幹事13名、書面決議1名、議長委任出席0名
- ・Zoom出席幹事13名：佐藤禎人(青森県立図書館)、藤岡宏章(岩手県立図書館)
小田部修一(茨城県立図書館)、尾崎尚子(さいたま市立中央図書館)、平松哉人(愛知県図書館)、大賀浩一(大阪府立中央図書館)、浦部文子(堺市立中央図書館)、森脇宏介(島根県立図書館)、小池照雄(愛媛県立図書館)、柴田憲志(北九州市立中央図書館)、安宅仁志(個人会員選出)、水澤弘幸(個人会員選出)、堀渡(個人会員選出)
- ・書面決議幹事1名 大谷修一郎(熊本市立図書館)
事務局：鈴木隆(日本図書館協会副理事長)、高橋正名(日本図書館協会専務理事)

公益社団法人日本図書館協会植松貞夫理事長からあいさつがあった。

- 1 議長の選出
Zoom出席の13名の幹事が、関東甲信越静岡地区小田部修一幹事を部会長として賛成多数で選出した。
- 2 議長あいさつ
就任した小田部部会長のあいさつがあった。
(これ以降の議事進行を小田部部会長が行った。)
- 3 幹事自己紹介
出席した13名の幹事から自己紹介があった。
- 4 幹事会の成立
部会規程第10条第7項「幹事会は、幹事の過半数の出席がなければ開催することができない。」とあり、幹事16名中、Zoom出席13名、議決権行使の書面決議1通、合計14名で過半数を超えている報告があった。議長より幹事会成立が宣言された。
- 5 議案第1号2022年度部会幹事の追加を提案し、議決権行使の数及びZoom出席者の拍手による賛成多数で承認された。
- 6 議案第2号部会副部会長の選出は、大阪府立中央図書館大賀幹事は昨年度からの継続、愛知県図書館の平松幹事は新たに提案し、議決権行使の数及びZoom出席者の拍手による賛成多数で承認された。
- 7 議案第3号部会役員の選出と議案第4号部会長・副部会長選出サイクルは、関連が深いため、事務局からあわせて提案した。

主な質疑) ○申合せ案の4及び5の「その任期中に人事異動等があった場合、後任者がその残任期間を務めるものとする。」について、地区ごとのルールとの関連が議論された。その結果「原則として」と入れて、後任者をきちんと特定できるようにした。

○5に関連して、「ただし、特別な事情がある場合には、部会総会で選出した者を理事候補とすることができる。」(活動部会通則規程第10条第5項)により、幹事以外が理事候補となっているがその理由はという質問があった。これまで、個人会員選出の幹事が理事となったり、今期のようにすでに現職を退かれています方が就任しているケースがある。日本図書館協会理事会と部会幹事会をつなぐ役割があるので、できれば幹事が望ましいが、緊急避難的にお願いしている。地方自治体の職員として理事にはつけないと断られているという現状があり、来年度は早速対応する課題であると回答があった。

議案第3号は以上の質疑後、賛否を問い、議決権行使の数及びZoom出席者の挙手により全員賛成で承認された。

関連して提案された議案第4号は特に質疑はなかった。挙手による賛否を問い、議決権行使の数及びZoom出席者の全員賛成で承認された。

- 8 議案第5号 2022年度部会総会議案を事務局から提案し、議決権行使の数及びZoom出席者の拍手による賛成多数で承認された。
- 9 議案第6号 2022 - 2025年度部会推薦代議員候補(追加)を事務局から提案し、議決権行使の数及びZoom出席者の拍手による賛成多数で承認された。
- 10 議案第7号部会代議員定数等検討委員会委員の推薦を事務局から提案し、幹事の堀渡氏が、議決権行使の数及びZoom出席者の拍手による賛成多数で承認された。
- 11 議案第8号部会調査活動案：非来館型サービスを含めたアフターコロナの図書館サービス調査について、事務局から提案し、議決権行使の数及びZoom出席者の拍手による賛成多数で承認された。

事務局から報告、「日本図書館協会の文書の年表示について」と「第1回幹事会の議決権行使の結果について」の報告があった。

その他として全国研究集会開催予定一覧の確認の報告があった。

以上で2022(令和4)年度第2回公共図書館幹事会が終了した。